

## 令和4年度第3回本別町子ども・子育て会議

### 【議事概要】

日時：令和5年3月28日（火）

午後6時30分

場所：本別町役場 3階会議室

#### 1 開 会

会長あいさつ

#### 2 報告事項

##### (1) 令和4年度事業について

###### ○こども英語チャレンジ事業の継続（3年経過） 資料1

サマラ・クック講師については、令和5年3月31日で派遣期間を終了。

後任に、レベッカ・レッチフォードさんが着任。令和5年3月31日に本別入り。

事務局課長から、上記のとおり説明。資料裏面に新講師のレベッカさんの紹介記事あり。ミッチェル市で水泳の指導員として3年間勤務経験あり。メルボルンでジェットスター航空会社勤務と公共プール監視員を勤めていました。運動が得意。大学で教育学を専攻、子ども好きな方です。

各委員からの質疑はありません。

##### (2) 令和5年度児童福祉関連の主な動向について

###### ① 令和5年度子ども・子育て関連施策、予算について 資料2

資料に基づき、事務局課長から概要、小原主任より予算について説明。

各委員からの質疑はありません。

###### ② 本別学童保育所の募集結果について

令和5年度募集人数について、定員50人のところ、1年生25人、2年生14人、3年生13人、4年生3人、5年生5人の計70人。

※令和4年度は57人の応募者全員を受入れしましたが、令和5年度については、かつてない募集人数で、大幅に定員を超過した応募がありました。

このような状況は、直営に移行してから初めてのことであり、70人全員の受入は困難なため、学童所長、本別学童支援員3人、事務局3人で協議し、1年生から3年生の52人の低学年を優先に受入れることと決定しました。4年生、5年生の18人については、申請却下の通知をお出ししています。

申請却下18人中、待機の希望を提出された方は、現在のところ10人です。

#### ■課題として

本別学童保育所の定員について 現在50人（規則で定めています） 資料3

令和5年度の受入れ52人で、既に定員は超過しています。

小1から小3まで受入れるとして、定員超過の状況は来年以降も続きます。

要因としては、市街地区は出生数25人前後で推移しており、就労などにより、子どもの保育にあたれない保護者や家族は出生児童の約9割を占めている現状です。

定員について、数を見直すのか、数はそのまま、入所基準を数値化してより明確に優

先順位を決定していくか等、検討が必要と考えています。(数値化とは⇒他の自治体の例ですが、優先順位要件を点数にして、合計点で優先順位を決めているところもあります。)

また、数を見直すにあたっては、増数によっては支援員の増員も検討になります。規則の改正は、議会の議決は要しませんが、町長決裁事項です。新年度に入りましたら協議を進めてまいります。

③ 栄町児童館の開館時間について

上記の本別学童保育所の現状を考慮し、令和5年度に限って、別紙資料4により、子どもたちの居場所確保のため、開館時間を4月7日の始業式の日から、変更します。児童館は、一度家に帰宅してから来館することになっています。児童館が栄町にあることから、遠方の児童には不便さもあります。ランドセル来館という、学校から直接児童館へ行く方法(登録制になります。いろいろ決め事もあります。)もありますが、子どもたちの利用の動向を見ながら、必要性があるか否か、検討していきたいと思えます。

事務局課長から、議案に沿って説明。各委員からの質疑はありません。

(3) その他

3 閉 会